

公共事業環境配慮実施報告書

建設部

道路建設課

事業名称		達成状況の評価	
事業名	道路改築事業	A	
整理番号	24-7	目標を完全に達成した。(達成割合100%)	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路整備		
市町村名	白馬村		
箇所名	主要地方道白馬美麻線 大左右		
事業年度	平成25年度～令和4年度		
		配慮した項目 38 = 100%	
		配慮する全項目 38	
事業概要			
目的	交通事故が多発する該当区間において道路改良を実施し、地域住民の安全な道路交通を確保したい。		
事業概要	道路築造工 延長L=1.100m 道路幅員W=11.0m 車道幅員W=6.5m		
関連する事業計画	特になし		
その他特記事項	特になし		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	なし		
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律の急傾斜地崩壊危険区域		
その他	なし		
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)	
大気環境	【大気汚染の防止】		
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	適正に実施	
	・有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。	適正に実施	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施	
	【騒音、振動の防止】		
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施	
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	適正に実施	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施	
	【悪臭の防止】		
	・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。	適正に実施	
	水環境	【水質汚濁の防止】	
		・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	適正に実施
		・チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。	適正に実施
		・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。	適正に実施
・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		適正に実施	
【水循環の保全】			
・水田や地下水・湧水を保全する。		適正に実施	
・地下水を使用しない又は使用量を削減する。		適正に実施	
・山間部においては流域界の変更や沢の埋立を避ける。		適正に実施	
地形・地質		【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実施	
	・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	適正に実施	
	・工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。	適正に実施	
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施	
	・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	適正に実施	
	・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実施	

野生動植物	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	適正に実施
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	適正に実施
景観	【地域独自の生物多様性の保全】	
	・表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。	適正に実施
	【すぐれた景観の保全】	
文化財等	・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	適正に実施
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
文化財等	【文化財等への配慮】	
	・文化財等を適切に対処する	適正に実施
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	適正に実施	
・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	適正に実施	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
日照障害・電波障害・光害	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施
	【日照障害への配慮】	
・日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。	適正に実施	